

平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 テクノクオーツ株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 大 室 起  
 (JASDAQ コード番号 5217)  
 専務取締役  
 問 い 合 わ せ 先 総 務 部 長 千 葉 喜 夫  
 (TEL03 - 5354 - 8171)  
 当社の親会社 ジーエルサイエンス株式会社  
 代 表 者 取締役社長 森 憲 司  
 (東証第2部 コード番号 7705)

平成 19 年 3 月 期 中 間 ( 連 結 ・ 単 独 ) 業 績 予 想 及 び 通 期  
 ( 連 結 ・ 単 独 ) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 19 年 3 月 期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 15 日付当社「平成 18 年 3 月 期 決 算 短 信 ( 連 結 ) 」 及 び 同 日 付 当 社 「 平 成 1 8 年 3 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 い た し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1. (個別) 中間業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 15 日発表)	2,175	60	32
今回修正予想(B)	2,392	24	8
増減額(B - A)	217	36	23
増減率	10.0%	60.3%	73.7%
前期(17 年 9 月 期 中 間) 実 績	1,714	55	39

2. (連結) 中間業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 15 日発表)	2,175	31	5
今回修正予想(B)	2,397	21	40
増減額(B - A)	222	52	46
増減率	10.2%	-	-
前期(17 年 9 月 期 中 間) 実 績	1,714	91	70

3. 修正の理由

(1) 個別

当中間期の業績は、半導体市場規模が携帯電話やデジタル家電製品の旺盛な需要に支えられ拡大したため売上高は予想を上回りました。しかしながら原油高に伴う原材料価格の上昇の影響等により製造原価が対前年比上昇したため、経常利益並びに中間純利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

(2) 連結

個別業績予想の修正によるものです。

4. (個別) 通期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 15 日発表)	4,800	231	107
今回発表予想(B)	5,028	121	61
増減額(B - A)	228	110	46
増減率	4.7%	47.4%	43.2%
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	3,842	28	15

5. (連結) 通期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 15 日発表)	4,800	229	107
今回発表予想(B)	5,032	99	35
増減額(B - A)	232	129	72
増減率	4.8%	56.4%	66.9%
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	3,842	16	3

6. 修正の理由

(1) 個別

半導体業界におきましては引き続き需要が順調に推移するものとおもわれ売上高は対前年比で 11 億 90 百万円増加し 50 億 32 百万円になる見込みであります。しかしながら、原油高や太陽電池需要の拡大により上昇している原材料価格の影響により製造原価が対前年比上昇することから、経常利益並びに当期純利益におきましては当初予想を下回る見通しです。

(2) 連結

個別業績予想の修正によるものです。

以上